昭.9.29
第4ク2号

兵器労働第一、三四支部

大正十三年九月二十四日

兵庫縣知事平塚廣義

内務大臣若槻禮次郎殿
社會局長官池田宏殿
各縣廳縣長官殿
神戸地方裁判所檢事正殿

宣傳ニ關スル件

宣傳ニ關シ演説會狀況ニ關スル件

歸ル以テ既報ノ如ク神戸聯合會ノ外二支部ニ於テ二回ニ亘リ演説會ヲ開催シ宣傳演説會狀況ハ左記ノ通ニシテ何レモ平和裡ニ終了セリ

司會者及其ノ主旨ニ對シ組合宣傳ノ外ナシ

制度を永遠に共同の利益を擁護する爲に、帝國勞働協會、全國勞働聯合會、日本船主協會、工業俱樂部、經濟聯盟、實業聯合會、商業會議所、其の他の團體を以て勞働階級の抬頭を壓迫せんとしてゐる。

是等に對して勞働階級は勞働組合を組織し全國的に團結して資本家階級の經濟的壓迫を排撃するのみならず更に政治的に團結する事によって政治上の利益を擁護するの必要がある。

更に戰爭は無産階級の敎育を振興し思想上の獨立を計らねばならぬ。今や英國の組合勞働者百萬人は共の團結の力を以て天下の政權を握ってゐる。

然るに日本の勞働大衆は支配階級の精神的壓迫の下に深く眠ってゐる。

吾人は一勞働階級全體の目前の利益の爲のみならず勞働階級最後の解放の爲めに彼等を覺醒せしめ、彼等をして吾等の陣營に參加せしめ、彼等の努力を盡さしめよ。

彼々たる半島の血は流れてゐる。況んや吾人同じく於てをや

濟くがごとき赤き血潮の流れこゝに於てか、吾等が如き正義の觀念、共同生活に對する熱性的精神は人類の歷史を一貫してゐる。

共同生活を破壞せんとしたる過去の支配階級を務めんとする此の血潮は吾人の身體にも流れてゐる。

此の正義の爲めには赤々として燃えてゐるこの吾等は神戸合同勞働組合の一支部創立に際し此處に吾等一同の決心と覺悟とを宣言する。

大正十三年九月十九日

日本勞働總同盟監 神戸合同勞働組合第一支部